

2022年
(令和4年)
7月23日
土曜日

静岡新聞

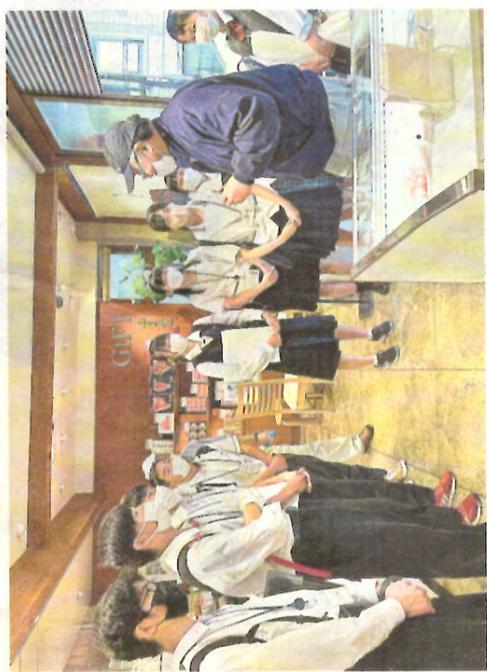
〒422-8033
静岡市駿河区登呂3-1-1
静岡新聞社
電話 054-282-1111

富士宮高校会議所×さの萬

総菜や贈答新商品企画へ

富士宮高校会議所は、このほど、富士宮市の食肉加工販売などを手掛ける「さの萬」とコラボし、新商品を開発するプロジェクトを始めた。さの萬で開いた初会合ではメンバー10人が参加し、店舗や熟成庫を見学してさの萬の商品へのこだわりや魅力に理解を深めた。

プロジェクトは佐野佳 ロッケなどの総菜や贈答社長から「高校会議所用の新商品をつくりたいメンバーのアイデアを」と依頼を受け、先



佐野社長から説明を受ける富士宮高校会議所メンバー
＝富士宮市宮町

上がった。ちぎりとやターゲティングを手掛ける「くもり」の中野義保さんが間に入り、アドバイザーを務める。メンバーは新商品の企画を担い、「ギフトにも使えるお総菜」や肉屋にあってないような商品に自由を考える。

初会合でメンバーは佐野社長から事業や贈答、日本で初めて確立した「ドライエイジングビーフ」、さきにとれるオリジナル豚「萬劫豚」などの紹介を受け、さの萬の仕事の回き合い方を学んだ。

メンバーはキヤッチコピーやターゲットなどの商品企画をまとめるコンサートシートを一人一人提出し、企画を詰めていく。試食を経て商品化を目指す。

(富士宮支局・吉田民彦)